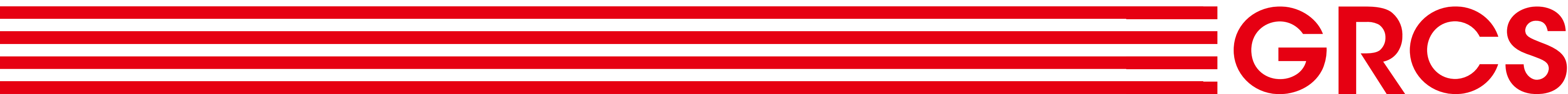


2026年11月期 第1四半期

決算説明資料

株式会社GRCS 証券コード：9250

2026年4月14日



免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述は、本資料の日付時点の情報に基づいて作成されています。

これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予想に関する記述には、必ずしも既知および未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの記述に記載された結果と大きく異なる可能性のある要因には、国内および国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

アジェンダ

1. 2026年11月期 第1四半期 決算概要
2. 事業別進捗状況
3. 2026年11月期 通期業績予想
4. 会社概要

1. 2026年11月期 第1四半期 決算概要

2026年11月
第1四半期実績

売上高は堅調に推移し、前年同期比5.3%増と着実な増収を確保
投資先行による利益減は、概ね期初計画通りの推移

売上高

820 百万円

前年同期比 5.3 % 増

売上総利益率

22.2 %

前年同期比 8.1pt 減

EBITDA ※

△ 38 百万円

前年同期比 △ 52 百万円

営業利益

△ 71 百万円

前年同期比 △ 2 百万円

通期見通し

- ✓ 採用強化、市場ニーズを捉えた新サービスの開発、自社プロダクトの機能開発など各施策を推進し、通期では計画達成を見通す
- ✓ 株式会社フィックスターズとの独自AIモデル共同開発プロジェクトがスタート、今期中のリリースを見込む

(単位：百万円)	2025/11 Q1	2026/11 Q1	増減額	増減率	2026/11 通期業績予想	進捗率 (通期業績予想比)
売上高	779	820	41	5.3%	3,678	22.3%
売上総利益	235	181	△53	△22.8%	1,087	16.7%
売上高総利益率	30.3%	22.2%	△8.1pt	—	29.6%	△7.4pt
販売費及び一般管理費	304	253	△51	△16.9%	968	26.1%
EBITDA	13	△38	△52	—	235	—
営業利益	△68	△71	△2	—	119	—
経常利益	△70	△77	△6	—	100	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△44	△77	△33	—	67	—

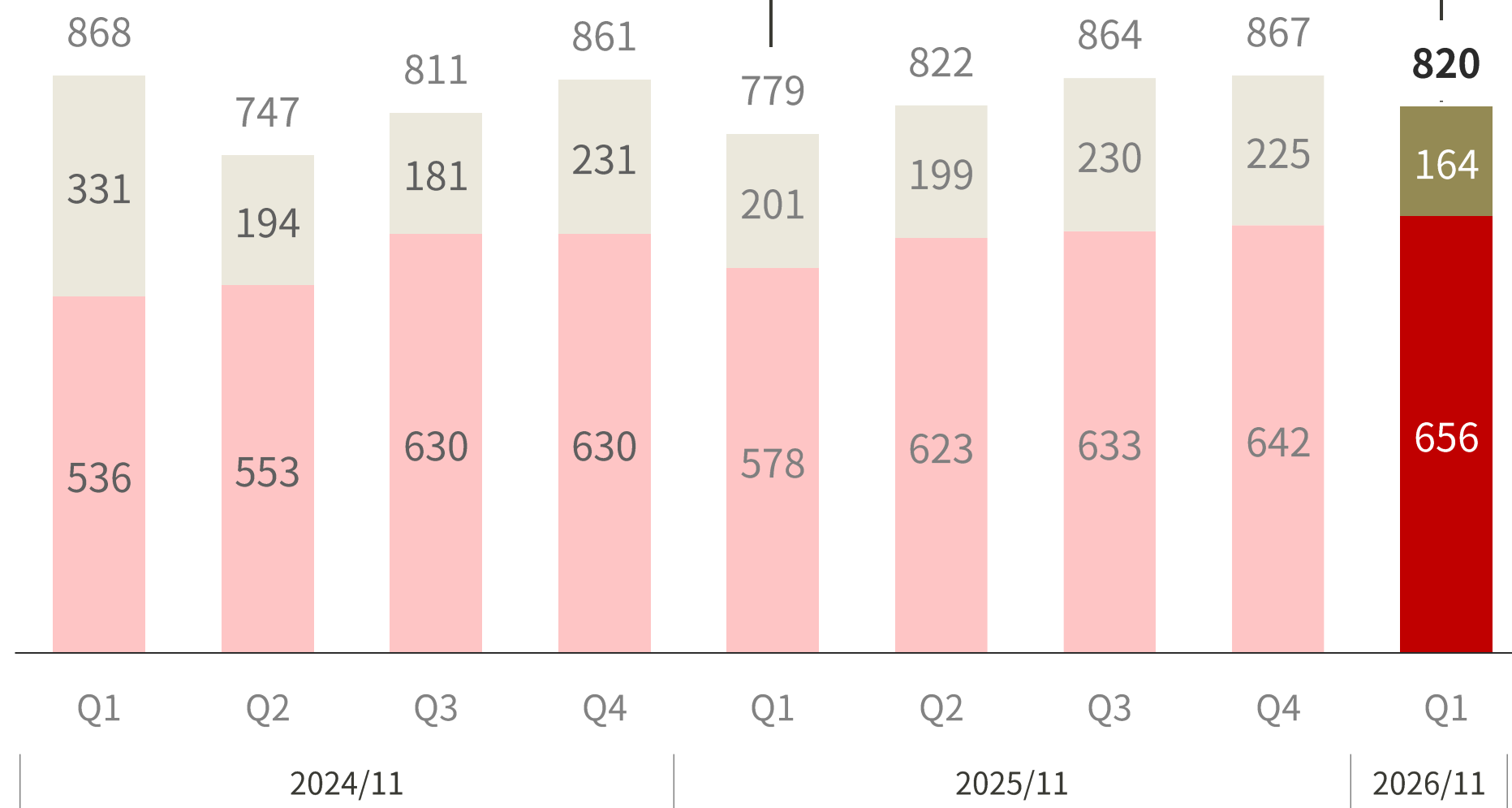
※：EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- ✓ 主力プロダクト売上の継続的な伸長が成長に寄与
- ✓ GRCセキュリティ事業は、案件の深耕が進み取引規模が着実に拡大
- ✓ フィナンシャルテクノロジー事業は、既存顧客との取引を堅持し安定収益基盤を確保

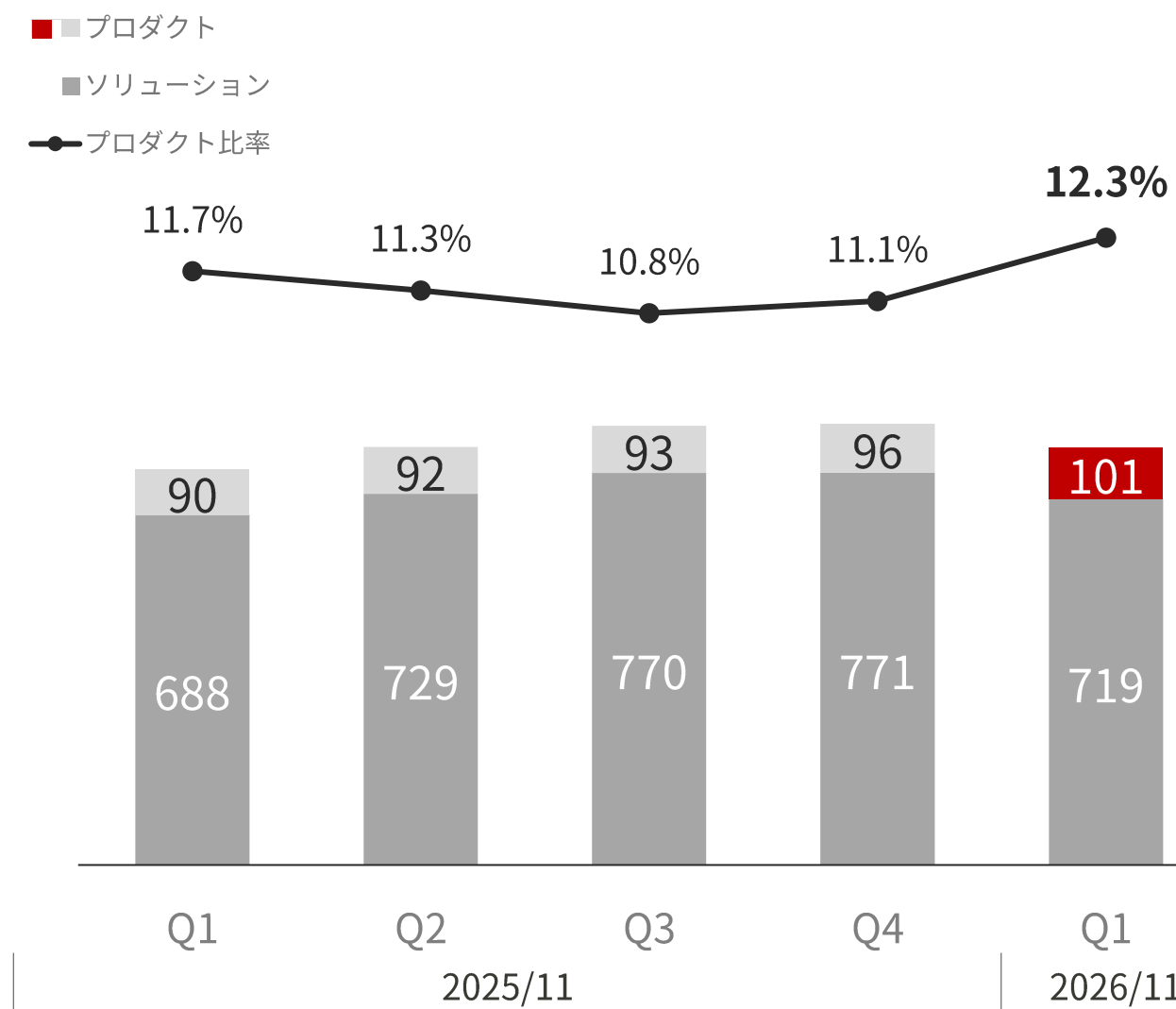
(単位：百万円)

■ フィナンシャルテクノロジー事業
■ GRCセキュリティ事業

前年同期比
+5.3%



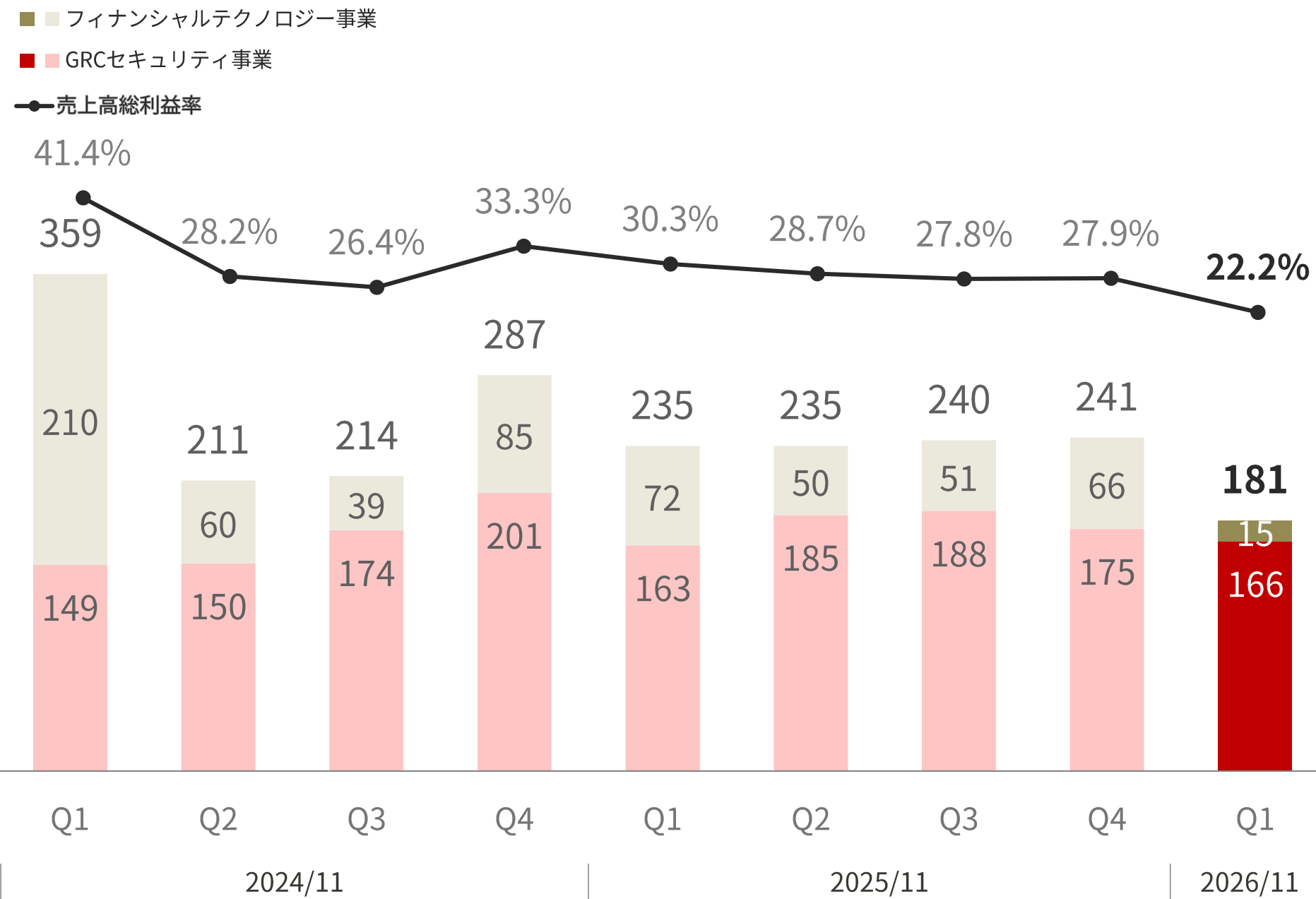
ソリューション・プロダクト (単位：百万円)



売上総利益・売上高総利益率推移（四半期）

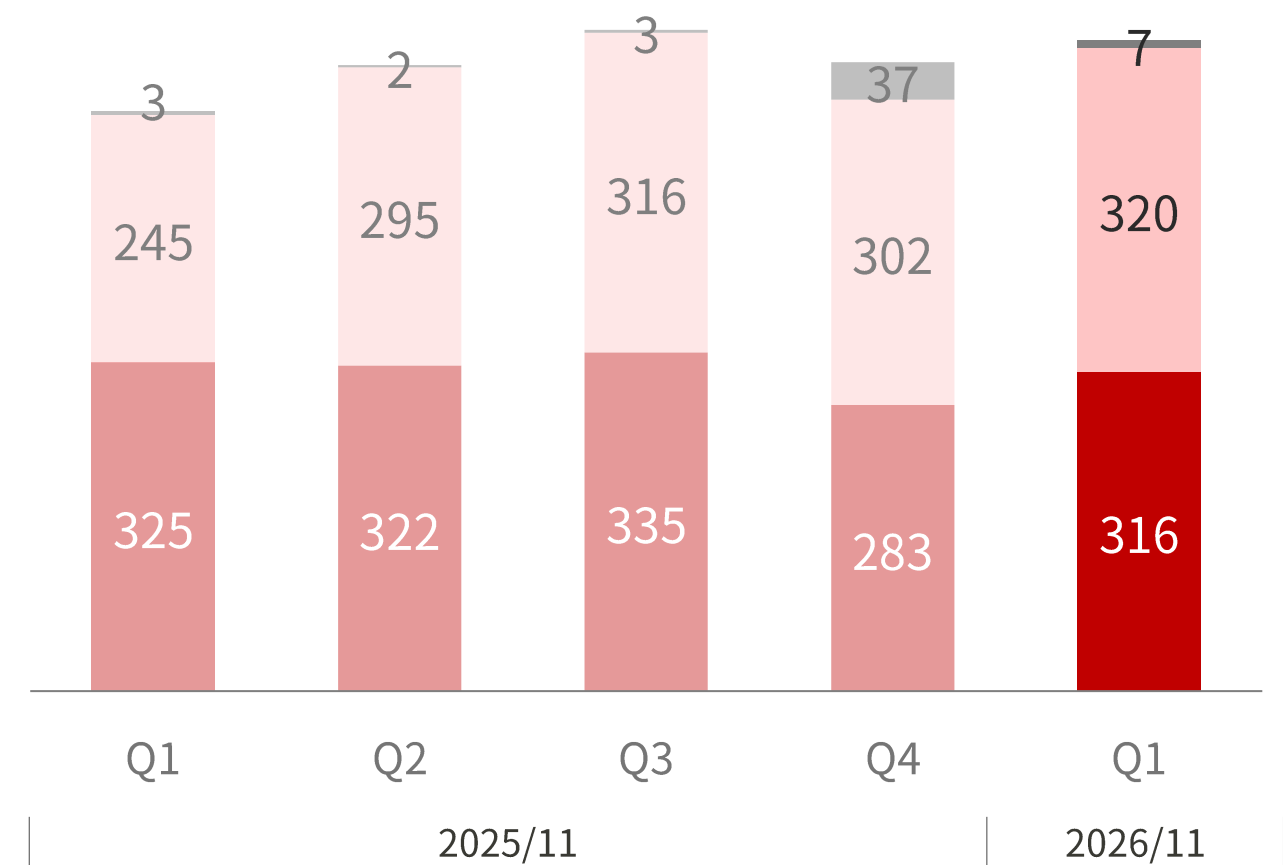
- ✓ GRCセキュリティ事業は、外注費の増加に伴い売上総利益が減少するも期初予想に準じた進捗
- ✓ フィナンシャルテクノロジー事業は、前期の大型プロジェクト中断が影響し売上総利益減少、利益率は想定内で推移

(単位：百万円)



売上原価 (単位：百万円)

- その他
- 外注費
- 労務費

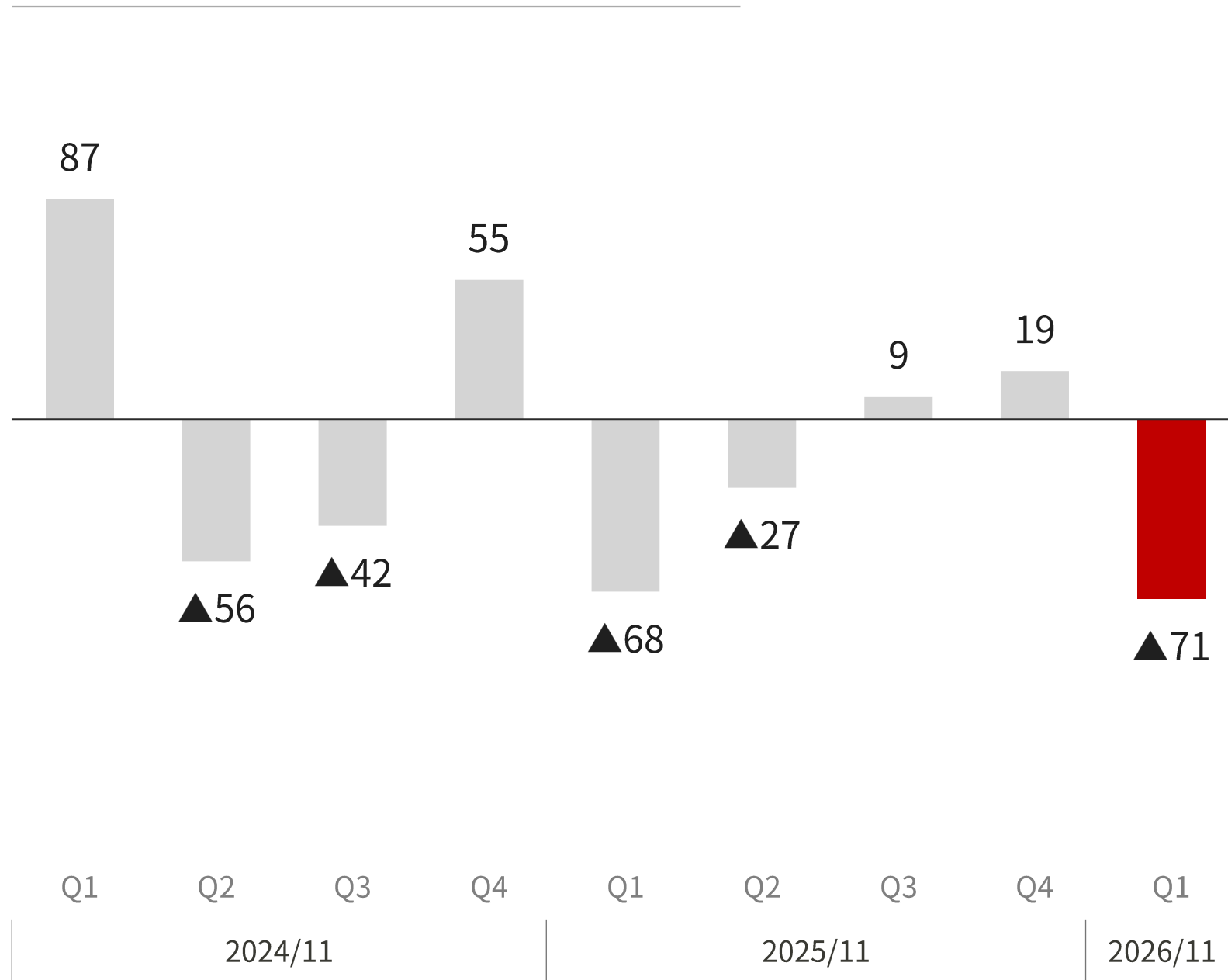


※：今期より2事業に区分しており、過年度に遡及して表示しております

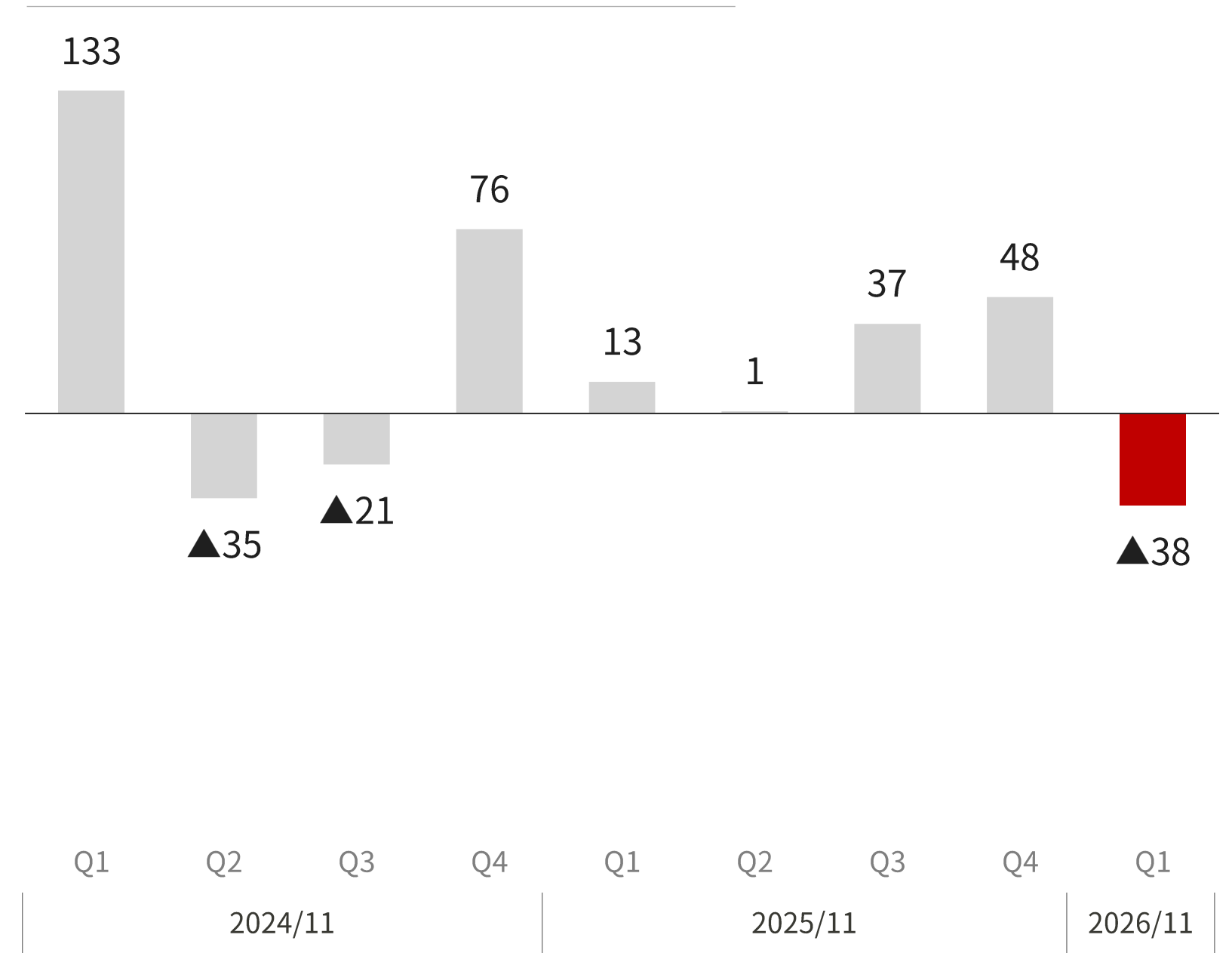
営業利益・EBITDA推移（四半期）

- ✓ 販売費及び一般管理費を抑制も、売上総利益減が営業利益を圧迫
- ✓ EBITDAも過去実績と比較し低水準に留まる

営業利益（単位：百万円）



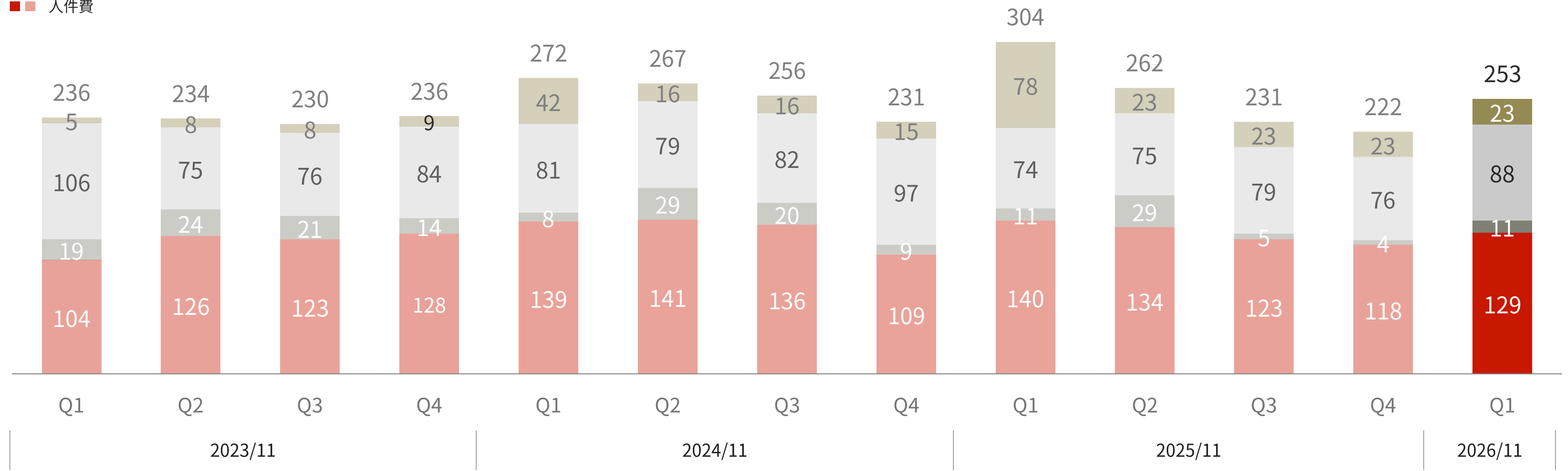
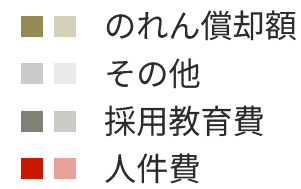
EBITDA（単位：百万円）



※：EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

- ✓ 成長基盤構築に向け採用活動を本格化
- ✓ 一時的な費用が発生したものの、引き続き間接コストの効率化を徹底し適正な運用を継続

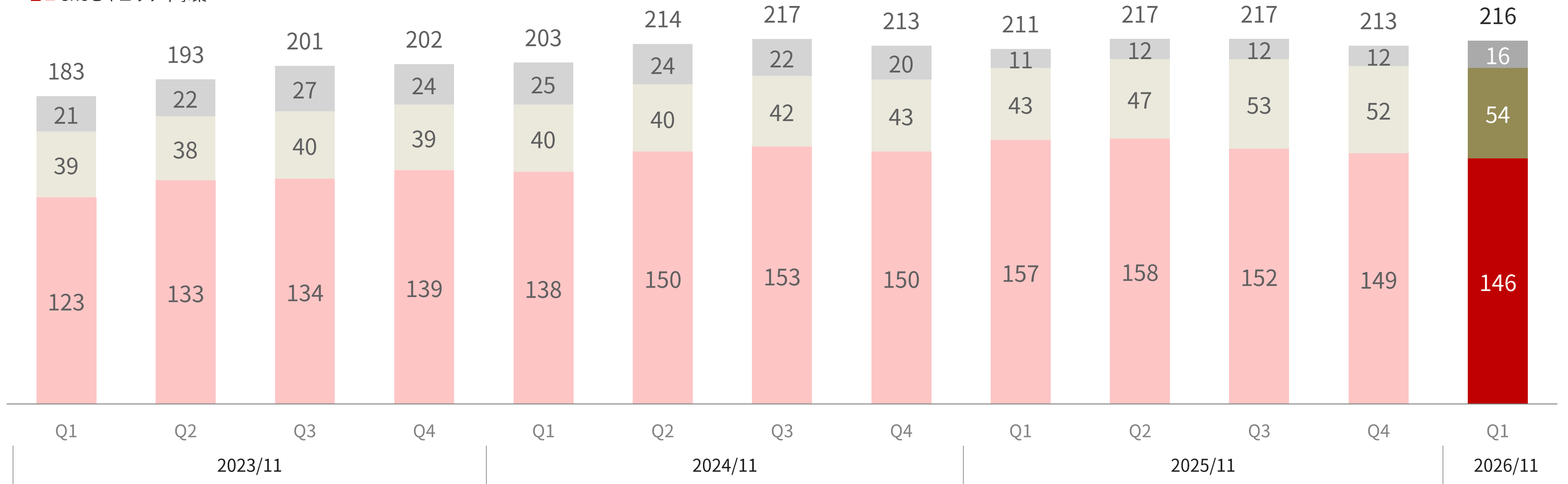
(単位：百万円)



- ✓ GRCセキュリティ事業の採用活動は計画通り推移、人員体制は今後拡充の見通し
- ✓ フィナンシャルテクノロジー事業は案件拡大に伴い増員
- ✓ 組織再編に伴い管理部門の人員が増加

(単位：名)

- 管理部門
- フィナンシャルテクノロジー事業
- GRCセキュリティ事業



※：今期より2事業に区分しており、過年度に遡及して表示しております

- ✓ 新株予約権の発行により36百万円、第三者割当増資により96百万円の純資産増加
- ✓ 引き続き収益構造の改善ならびに資本増強施策を推進し、2026年11月期末までの債務超過解消を予定

(単位：百万円)	2025/11 通期実績	2026/11 1Q末実績	増減額
流動資産	1,069	1,018	△50
現金及び預金	530	418	△112
固定資産	643	620	△23
資産合計	1,713	1,639	△74
流動負債	927	971	43
固定負債	881	702	△179
負債合計	1,809	1,674	△135
株主資本	△136	△80	55
純資産合計	△95	△34	60
負債・純資産合計	1,713	1,639	△74

- ✓ スペシャリストを集結させた子会社を2026年4月に設立
- ✓ グループ全体の競争力強化を推進

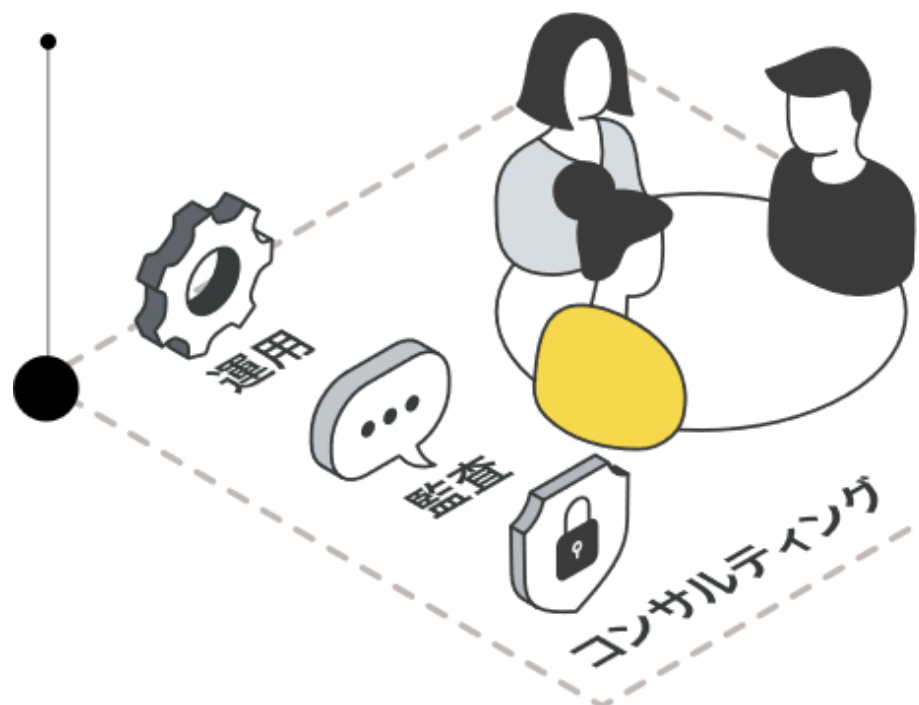
新会社の基本情報

名 称：株式会社GRCSテクノロジーズ
資本金：30百万円
主な事業：GRCセキュリティコンサルティング、トレーニングなど

設立の目的と戦略的意義

スペシャリストの集約と育成

コンサル、運用、監査などのスペシャリストを集結、専門ノウハウを集約・体系化し他社との差別化を図ります。

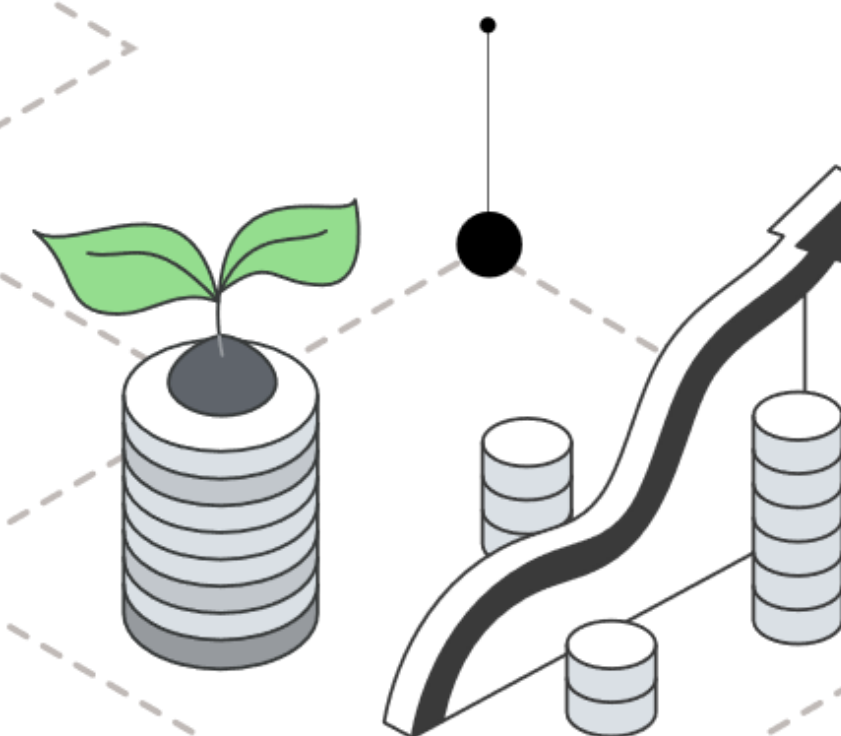


採用競争力と市場価値の向上

専門会社化により採用力を強化し、即応性の高いサービス提供を通じてグループの収益力を高めます。

持続的な収益改善と成長の実現

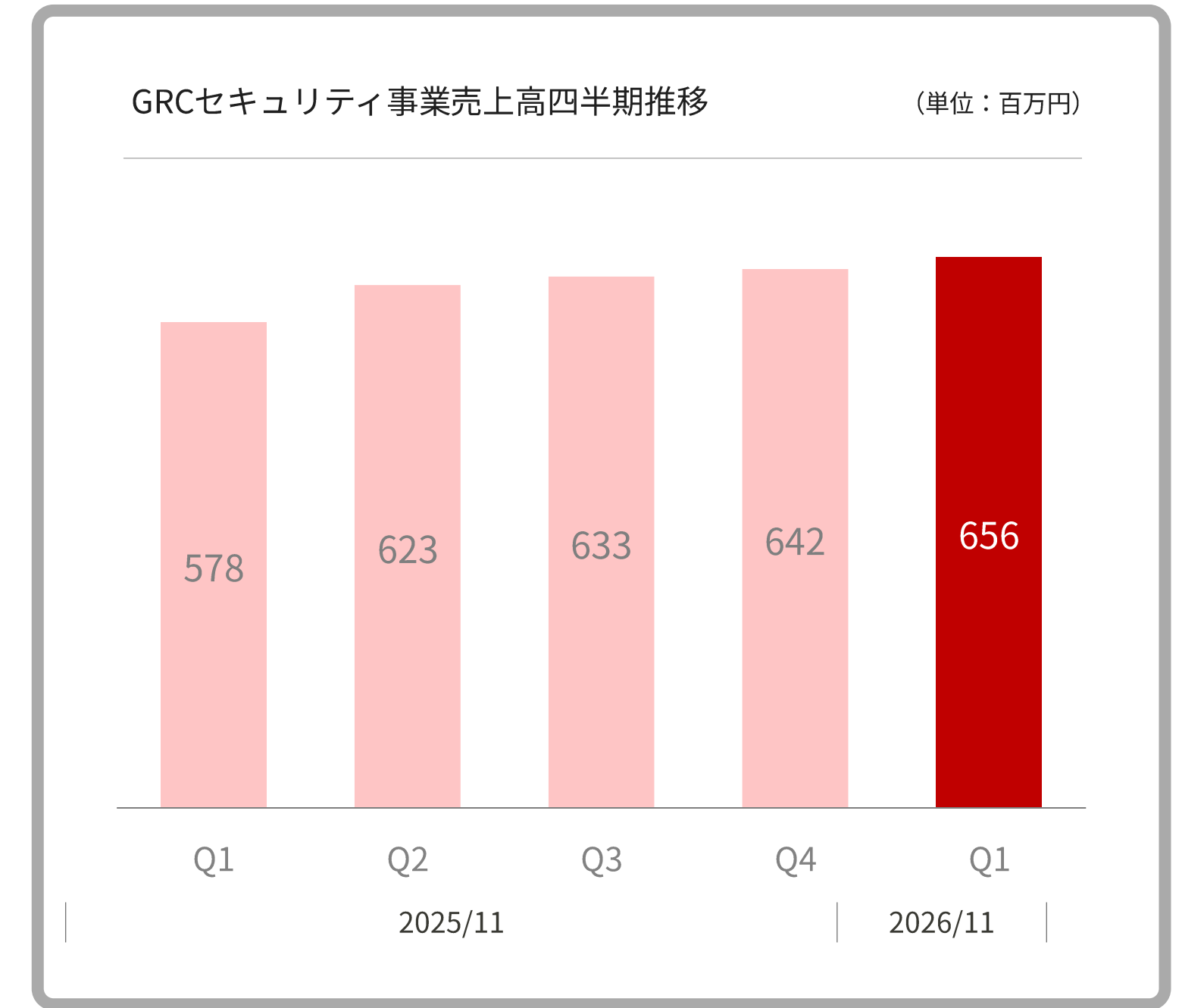
当社グループの持続的な収益改善を図りつつ、「GRCセキュリティ領域のリーダー」という目標を実現します。



2. 事業別進捗状況

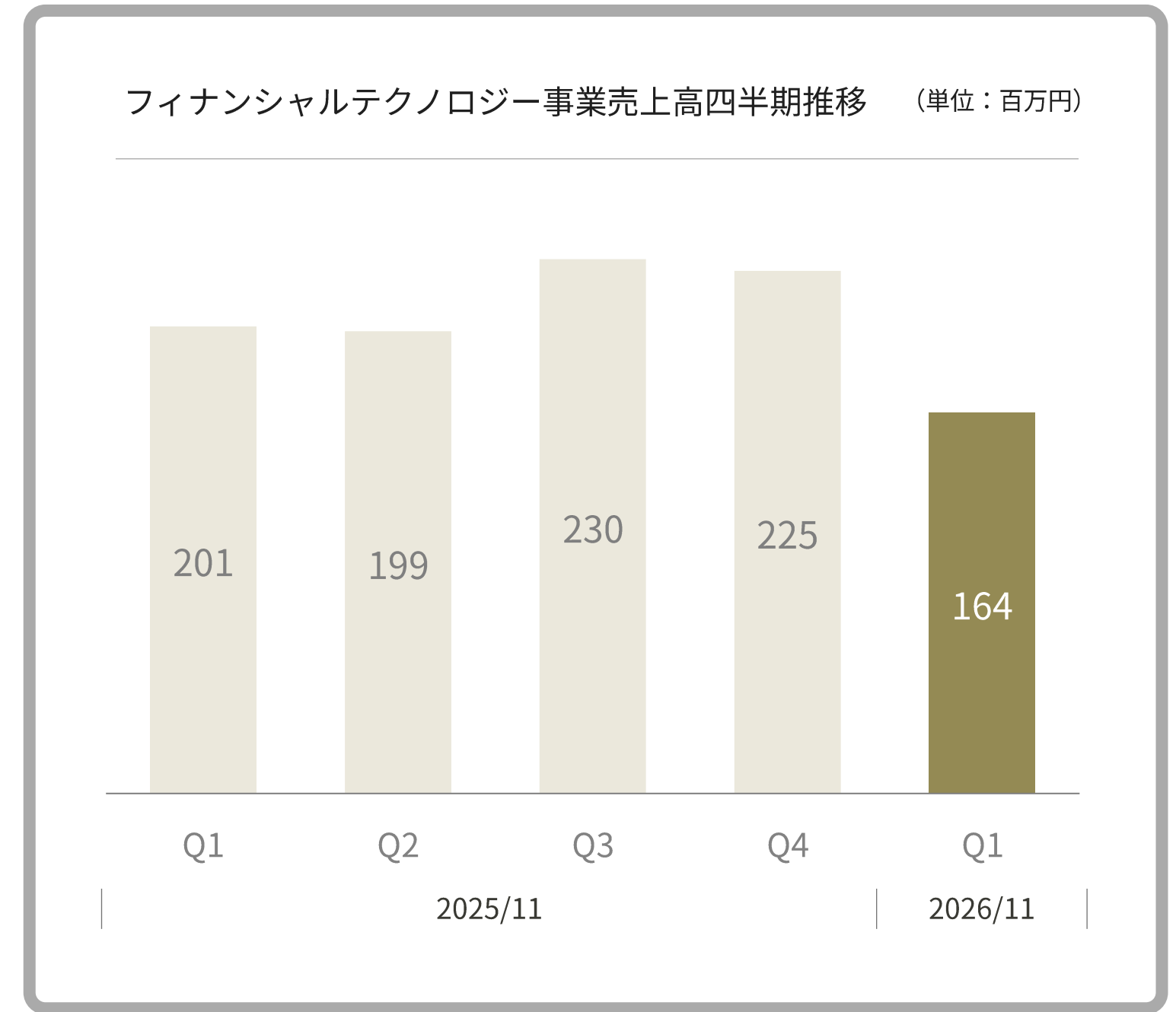
- ✓ セキュリティ対策の高度化や管理体制維持の需要を捉え、支援サービスの提供が拡大
- ✓ 既存顧客の深耕と主力プロダクトの伸長により、売上高は前年同期比13.5%増

(単位：百万円)	2025/11 Q1	2026/11 Q1	増減額	増減率	2026/11 通期業績予想	進捗率 通期業績予想比
売上高	578	656	78	13.5%	2,676	24.5%
売上総利益	163	166	3	2.0%	714	23.3%
売上高 総利益率	28.2%	25.4%	△2.9pt	—	26.7%	△1.3pt

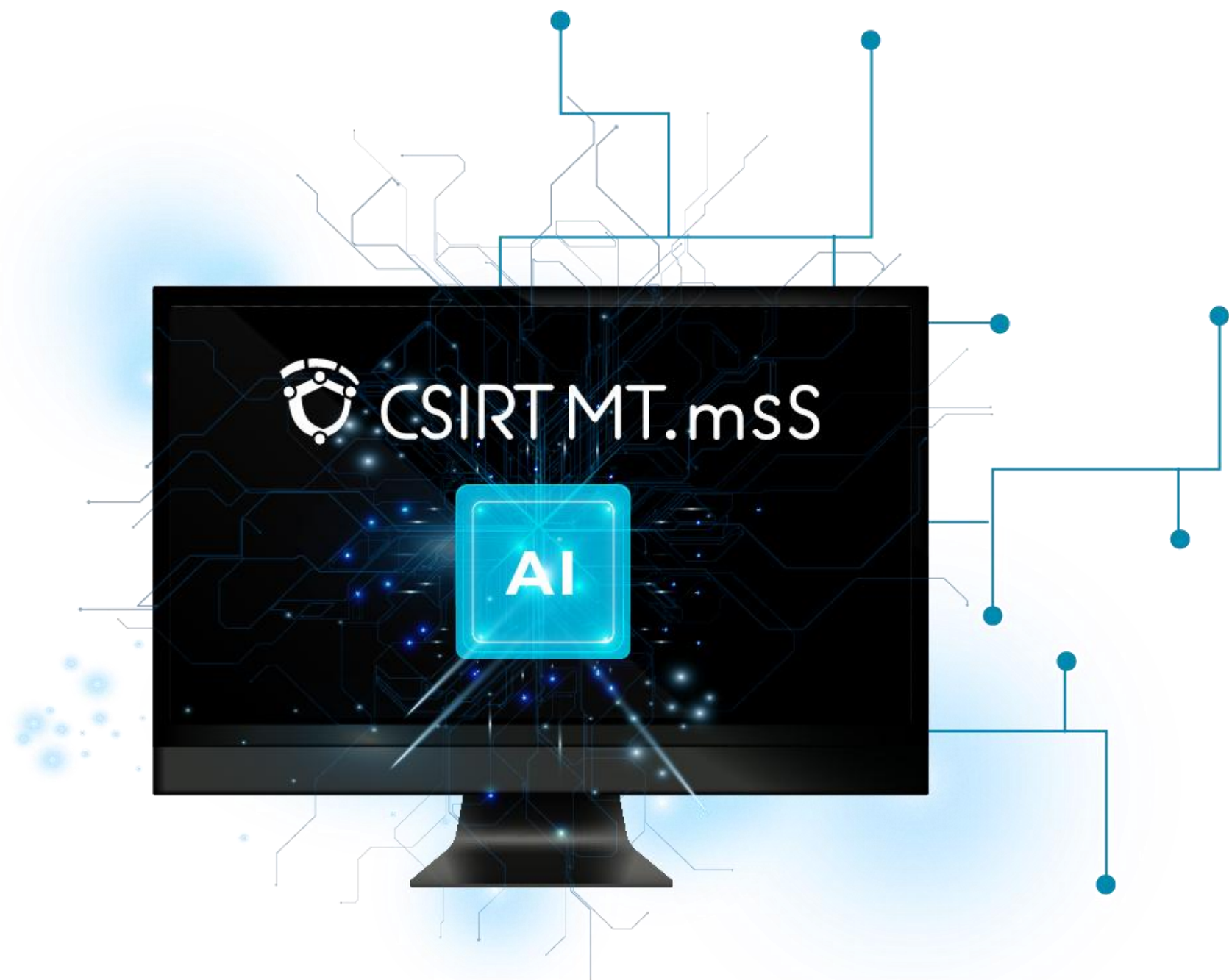


- ✓ FY2025の大型プロジェクト中断が影響し売上高、売上総利益とも前年同期を下回るも、計画通りに進捗
- ✓ アジア展開に向けた先行投資を継続、下期に成果の顕在化を展望

単位：百万円	2025/11 Q1	2026/11 Q1	増減額	増減率	2026/11 通期業績予想	進捗率 通期業績予想比
売上高	201	164	△36	△18.3%	1,001	16.4%
売上総利益	72	15	△57	△78.6%	373	4.2%
売上高 総利益率	36.1%	9.5%	△26.6pt	—	37.3%	△27.8pt



- ✓ Salesforceの最新AI基盤を活用した「自律型セキュリティAIエージェント」をオプション機能として搭載



- ✓ インシデント発生直後の混乱しやすい状況でも、**AIが即座に状況を分析し、最適な対応手順（プレイブック）を自動生成**
- ✓ 報告資料作成時には、「**経営層向けサマリー**」や「**時系列の対応履歴**」を含む詳細なインシデントレポートのドラフトをわずか**数秒で作成**

情報の一元化とAIによる支援で
標準化された高度な統合セキュリティ管理を実現

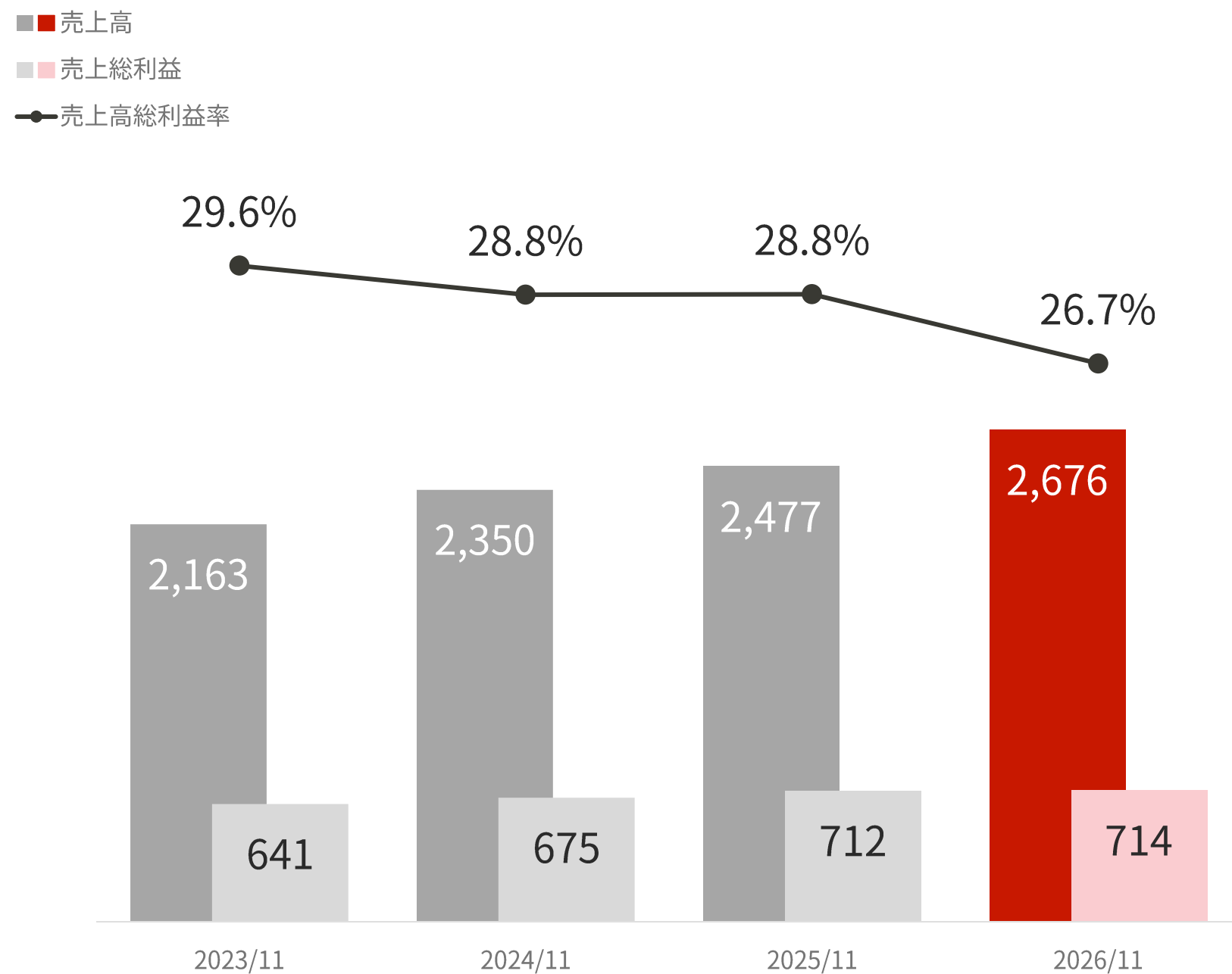
3. 2026年11月期 業績の見通し

✓ ストック型収益の事業構造転換を本格化し、収益基盤の安定化を図る

(単位：百万円)	2025/11	構成比	2026/11 業績予想	構成比	増減額	前期比
売上高	3,333	100.0%	3,678	100.0%	344	110.3%
GRCセキュリティ	2,477	74.3%	2,676	72.8%	199	108.0%
フィナンシャル テクノロジー	856	25.7%	1,001	27.2%	145	116.9%
EBITDA	100	3.0%	235	6.4%	134	234.5%
営業利益	△67	—	119	3.2%	187	—
経常利益	△97	—	100	2.7%	198	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△527	—	67	1.8%	595	—

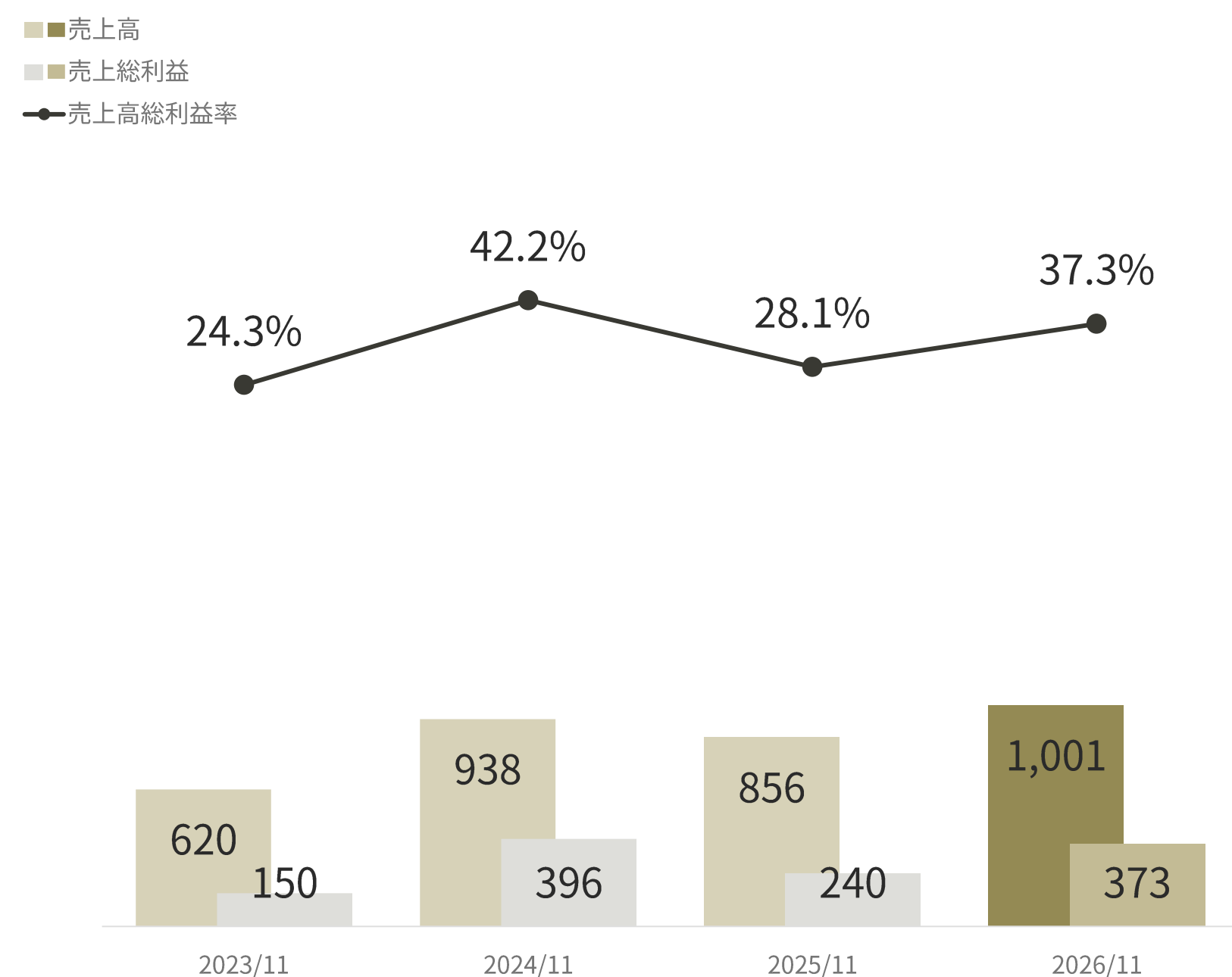
GRCセキュリティ (単位:百万円)

- ✓ 売上高は実績をふまえた堅実な計画設計
- ✓ 自社プロダクトのAI開発投資に伴い売上高総利益率の低下



フィナンシャルテクノロジー (単位:百万円)

- ✓ 既存顧客基盤の維持拡大を堅実に進行
- ✓ リカーリングモデルの拡大により収益性向上



4. 会社概要

進化に、加速を。

MISSION

私たちの使命は、進化を加速させ、自身も社会も成長させることです。
複雑に変化し続ける世の中で直面する多種多様なリスクへ敏感に迅速に対処するために
私たちは常に新しいことに挑戦し、進化し続けることで
クライアントが安心できるビジネス環境を提供し持続的な企業成長を支えます。

世の中を、テクノロジーでシンプルに。

VISION

私たちが目指すのは、テクノロジーによって「複雑さ」をなくした社会です。
G：ガバナンス、R：リスクマネジメント、C：コンプライアンス、S：セキュリティ領域における
複雑な課題をテクノロジーの活用によってシンプルに解決します。

会社名 株式会社GRCS

設立 2005年3月

決算期 11月

資本金 116百万円（2026年2月28日時点）

所在地 東京都千代田区丸の内一丁目1番1号
パレスビル5階

従業員数 213名（2025年11月末時点・連結）

役員体制

代表取締役社長 佐々木慈和

取締役 塚本拓也

取締役 田中郁恵

取締役 望月淳

社外取締役 久保恵一

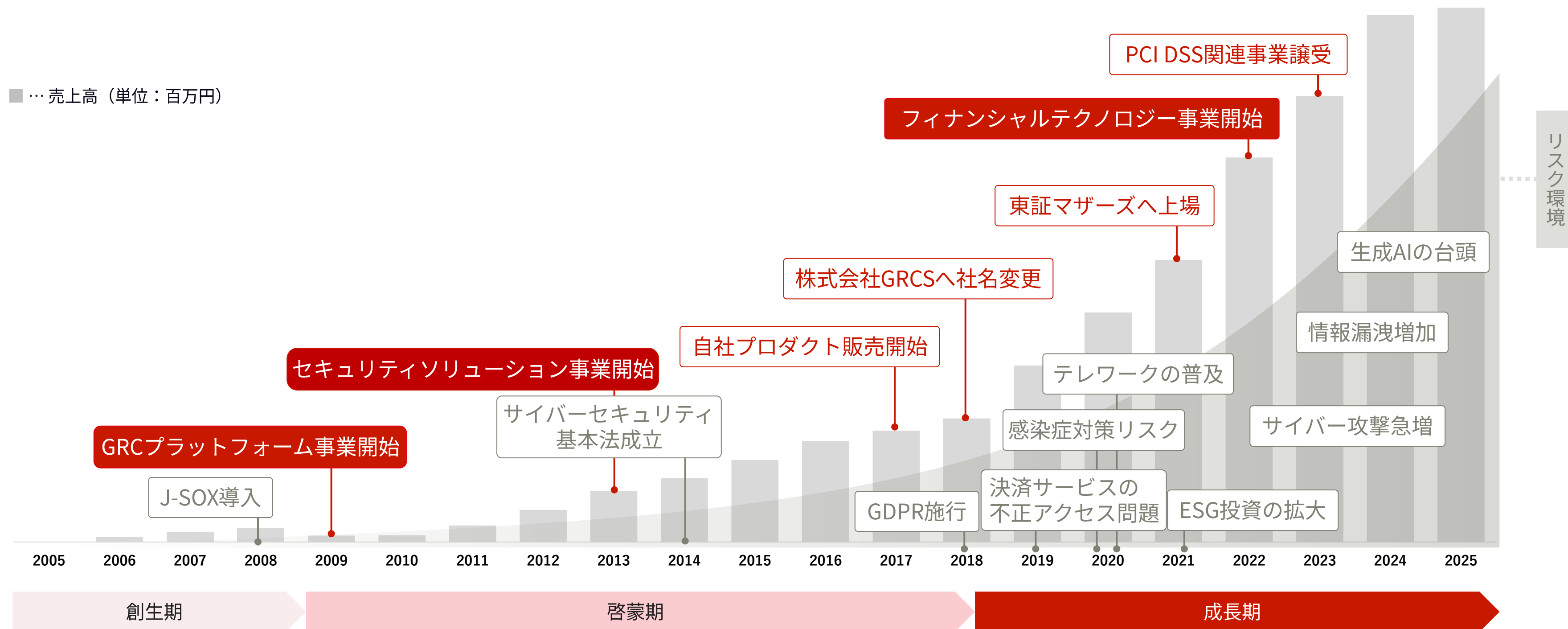
社外取締役 山野修

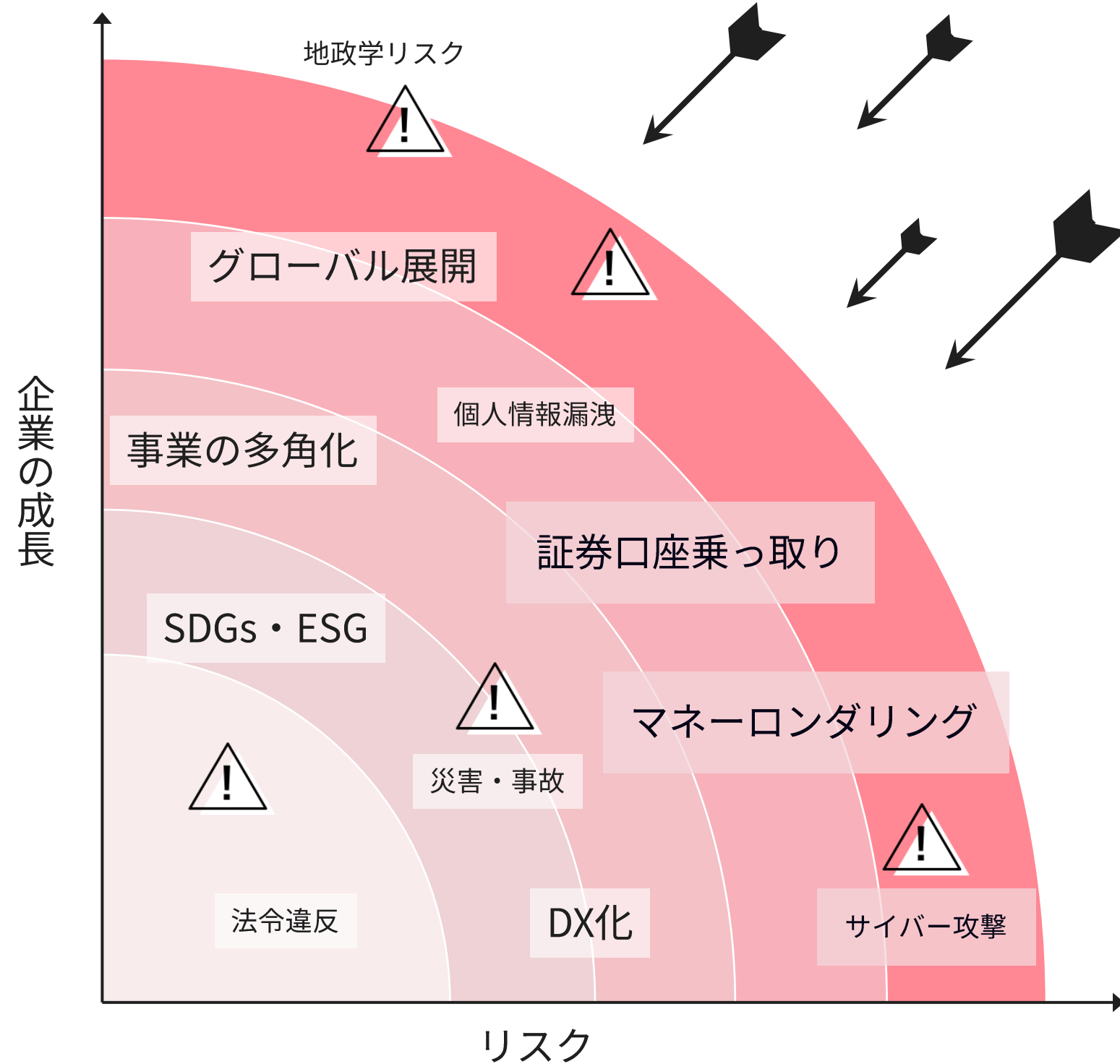
監査役 佐藤尚人

監査役 島田容男

監査役 伊賀志乃

- ✓ リスク環境の変化に応じたサービスを展開し成長
- ✓ 2009年にGRCプラットフォーム事業を開始し、以降の2013年セキュリティソリューション事業開始、2022年フィナンシャルテクノロジー事業開始を経て**16期連続増収**





企業の成長とともにさらされる脅威も増える

日本の企業は守備体制の構築が不十分

リスクを減らし、企業成長の **最大効率化** を支援します

G ガバナンス体制の構築

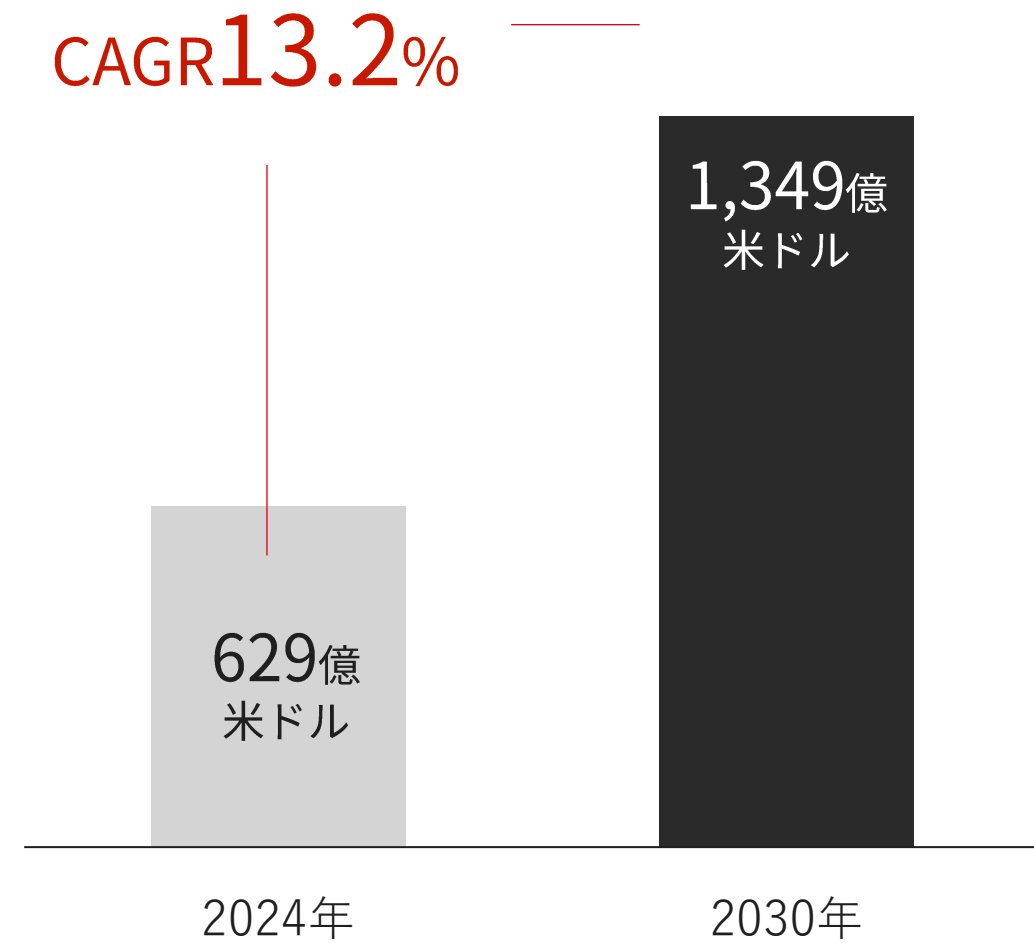
R リスクマネジメントの強化

C コンプライアンス意識の向上

S セキュリティ対策の支援

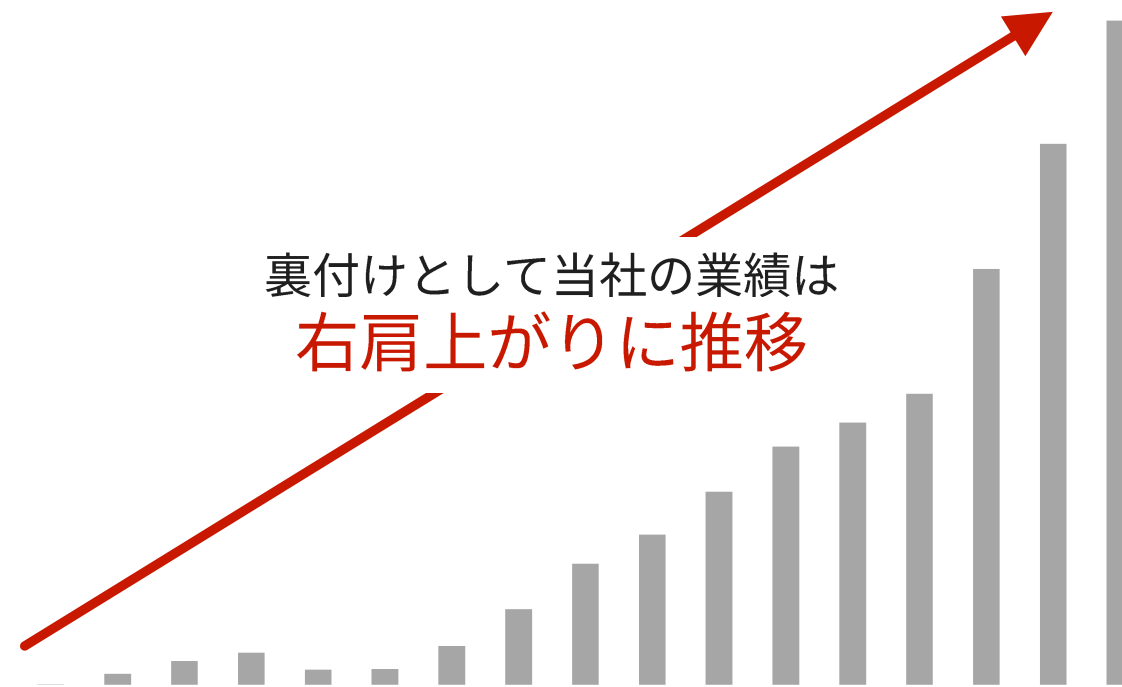
- ✓ 国内のGRC市場についてまだ数字はないが、GRCとセキュリティの対応は企業経営における喫緊の課題
- ✓ 世界のGRC市場は年平均13.2%の成長と予想されており、日本においても同様の成長が見込まれる

世界のGRC市場 *



国内GRC・セキュリティ市場の成長

GRC+セキュリティが企業経営において標準化されている欧米に追いつくため、**速度の早い市場成長を見込む**



監督官庁や海外法律の規制等により
高水準のリスク管理を要する

▼

事業において厳しい規制・基準が課される業種
で需要が顕在化

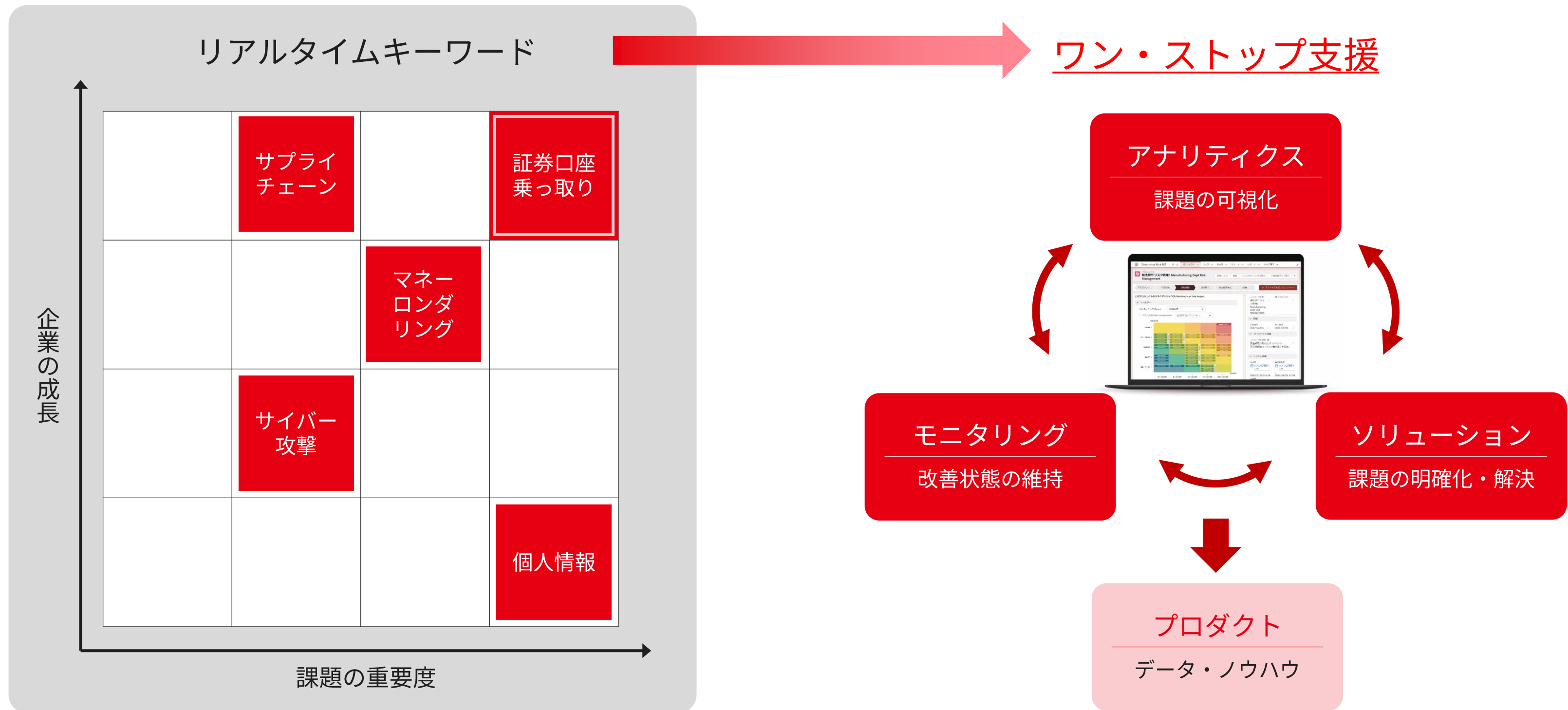
金融

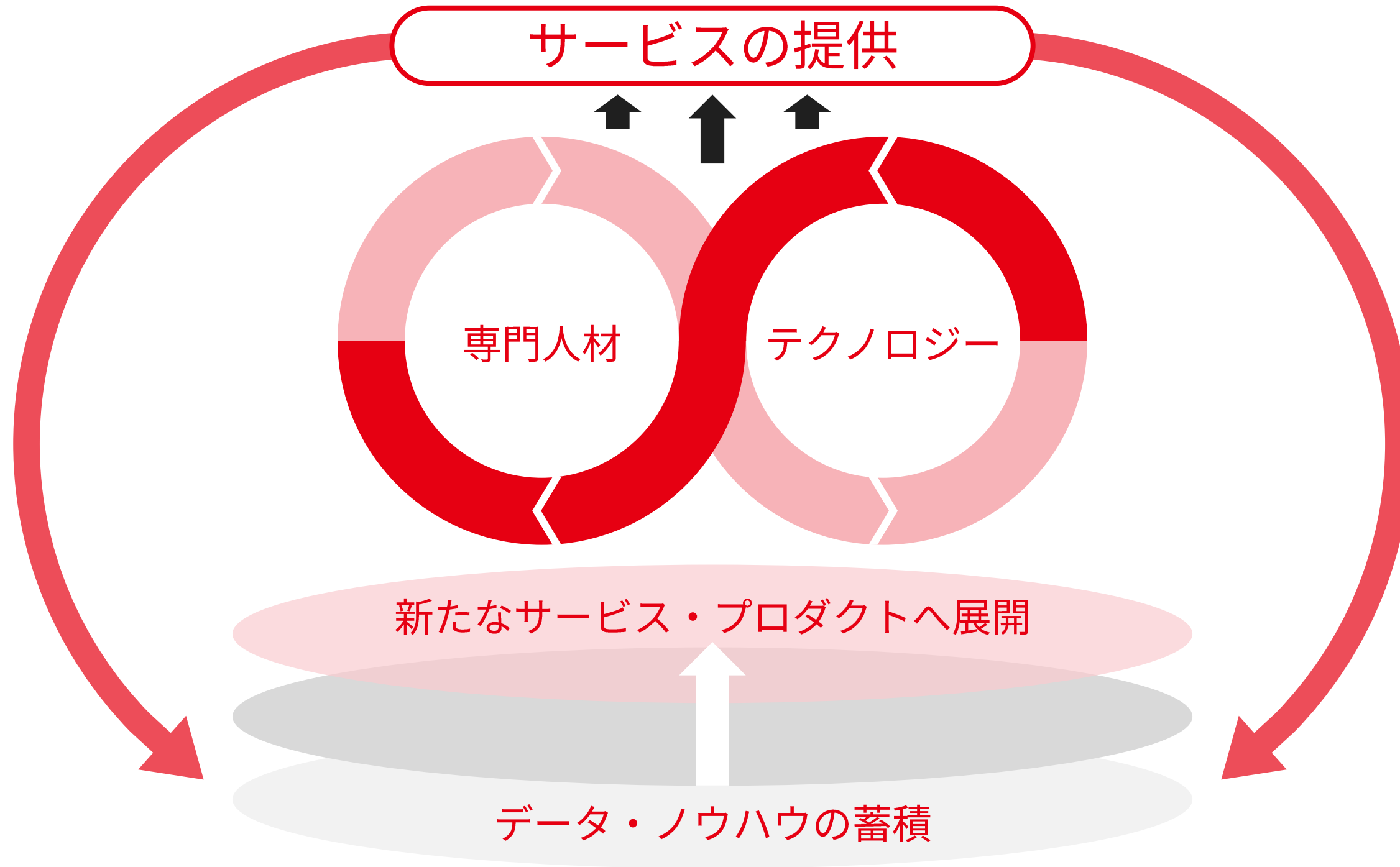
通信

グローバル

※：Grand View Research/Enterprise Governance, Risk & Compliance Market Size, Share & Trends Analysis Report By Component, By Software, By Services, By Organization Size, By Vertical, And Segment Forecasts, 2022 – 2030より当社作成

- ✓ プロダクトの活用により、全社的な情報管理や共有を効率化 ⇒ 企業課題を可視化
- ✓ 分析、解決、維持をワン・ストップで支援 ⇒ 継続的なPDCAサイクルによりプロジェクトを積み増すフロー





- ✓ 200人規模の**専門人材**
- ✓ 国内有数の**GRC**専門企業
- ✓ **15年以上の実績**
- ✓ **ワン・ストップサービス**
- ✓ **グローバル金融テック**

経営の目が行き届く範囲を絞り体制を立て直すために、これまでの3事業を

コア領域のGRCセキュリティ事業と、成長を担うフィナンシャルテクノロジー事業の2事業体制へ原点回帰

GRCセキュリティ事業

GRC及びセキュリティの
視点で企業課題を解決

フィナンシャルテクノロジー事業

資本市場向け
高性能テクノロジーソリューション



www.grcs.co.jp